

# 平成25年度 事業計画書

平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動に関する事業として、教育界、情報処理産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として、全国高専プロコンの運営および同高専の国際プロコン大会の開催、情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナーの開催などを計画する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
高専プロコン 運営事業	全国高専プロコンの運営 (予選)	6月	東京都	30名	応募学生・教 員ならびに審 査委員 700人	15,000
	全国高専プロコンの運営 (本選)	10月	北海道 旭川市	20名	全国高専から のコンテスト 出場学生・ 教員及び産 業界からの参 加者一般市民 約 1000名	
国際コンテ スト運営事業	国際プロコン大会開催	10月	北海道 旭川市	4名	国外からの参 加学生・教員 16名	4,200
産学連携事業	記念講演会と情報交換会	2月	東京都	9名	高専校長・教 職員など約45 名	100
	情報産業界と高専教育界の 連携を図るためのセミナー 開催	2月	三重県 鈴鹿市	3名	高専教職員及 び情報系企業 参加者など約 70名	50
普及啓発に 関する事業	ホームページ等による交流 活動の啓蒙	随時	法人事務局	2名	情報産業界、 教育界全般及 び一般市民な ど不特定多数	100

# 全国高等専門学校

## 第24回プログラミングコンテスト開催要項（案）

1. 主催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
2. 共催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会
3. 後援（予定）  
文部科学省、北海道、北海道教育委員会、上川教育局、旭川市、旭川市教育委員会、旭川市商工会議所、社団法人コンピュータソフトウェア協会、一般社団法人情報処理学会、社団法人電子情報通信学会、教育システム情報学会、独立行政法人情報通信研究機構、NHK、旭川工業高等専門学校産業技術振興会、旭川工業高等専門学校後援会、旭川工業高等専門学校同窓会
4. 主管校 旭川工業高等専門学校
5. 応募資格 国公立高専の学生（専攻科生を含む）
6. 協賛 特別協賛・一般協賛 20社以上
7. 募集部門 パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。
  - (1) 課題部門 「ICTでサポートする明るい少子高齢化社会」をテーマにした作品
  - (2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
  - (3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
8. 募集期間 平成25年5月24日（金）～5月31日（金）
9. 予選（書類による審査）  
日時 平成25年6月29日（土）
10. 本選（プレゼン・デモ等による審査、競技は対抗戦）  
日時 平成25年10月13日（日）～14日（月）  
会場 旭川市民文化会館(北海道旭川市7条通9丁目)
11. 審査委員（予定）  
神沼靖子(社団法人情報処理学会 フェロー)審査委員長をはじめ10数名
12. 表彰
  - (1) 課題・自由部門（各々）  
最優秀賞 優秀賞 特別賞
  - (2) 競技部門  
優勝 準優勝 第三位 特別賞
  - (3) 最優秀賞および優勝チームには、文部科学大臣賞、情報処理学会若手奨励賞が授与される。
13. その他  
本大会と同時に NAPROCK 第5回国際プログラミングコンテストを開催  
プロコン公式サイト：<http://www.procon.gr.jp/>

# 「NAPROCK 第5回国際プログラミングコンテスト」大会概要 (案)

## (NAPROCK 5th International Programming Contest)

1. 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
2. 共催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
3. 後援 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
4. 協賛 全国高専プログラミングコンテストに協賛する会社から3～5社程度
5. 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生  
(全国高専プログラミングコンテスト本選に参加する者)  
海外：大学生 (国内において予選等により選抜された者)
6. 募集部門 (高専プロコンに準じる)  
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。
  - (1) 課題部門 (「ICT でサポートする明るい少子高齢化社会」をテーマにした作品)
  - (2) 自由部門 (自由なテーマで独創的な作品)
  - (3) 競技部門 (与えられたルールによる対抗戦)
7. 募集期間 2013年5月24日(金)～2013年6月7日(金)
8. 審査方法・日程  
方法：課題・自由部門はプレゼンおよびデモによる審査，競技部門は対抗戦  
日時：2013年10月13日(日)～14日(月)  
場所：旭川市民会館(北海道旭川市7条通9丁目)
9. 審査委員 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
10. 表彰

(1) 課題・自由部門 (各々)	国際最優秀賞	国際優秀賞	国際特別賞
	Grand Prize	Second Prize	Special Prize
(2) 競技部門	国際優勝	国際準優勝	国際特別賞
	Champion	First-Runner-up Prize	Special Prize
11. その他
  - ・全国高専第24回プログラミングコンテストと同時開催とする。
  - ・高専プロコン実行委員会および主管校が運営に協力する。
  - ・海外チームへの支援は、協賛状況と各国の経済状況を考慮して実施する。

【参考資料】

第 15 回大会（新居浜）

ハノイ工科大学（課題部門，競技部門）

【受入・支援】プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

第 16 回大会（米子）

ハノイ工科大学（課題部門，競技部門），

モンゴル科学技術大学（課題部門，競技部門）

【受入・支援】(財)国際情報化協力センター(CICC)，

プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

第 17 回大会（茨城）

ハノイ工科大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門）

【受入・支援】プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

モンゴル国立大学（課題部門）

【受入・支援】(財)茨城県情報サービス産業協会

第 18 回大会（津山）

ハノイ国家大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門）

【受入・支援】津山高専，プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

第 19 回大会（福島）

ハノイ国家大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門），

モンゴル国立大学（課題部門）

【受入・支援】NPO 法人，プロコンの国際化を支援する会（協賛企業）

第 20 回大会（木更津）

ハノイ国家大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門），

モンゴル国立大学（課題部門），台湾国立聯合大学（課題部門）

【受入・支援】NPO 法人，木更津高専

第 21 回大会（高知）

ハノイ国家大学（課題部門，競技部門），大連東軟情報学院（課題部門，競技部門），

モンゴル科学技術大学（課題部門）

【受入・支援】NPO 法人

第 22 回大会（舞鶴）

ハノイ国家大学（競技部門），成都東軟学院（競技部門），

モンゴル科学技術大学（競技部門）

【受入・支援】NPO 法人

キングモンクット工科大学（競技部門）

【受入・支援】舞鶴高専

台湾国立聯合大学（課題部門，自由部門）

【受入・支援】木更津高専

第 23 回大会（有明）

ハノイ国家大学（競技部門），成都東軟学院（競技部門），

モンゴル科学技術大学（競技部門）

【受入・支援】NPO 法人

# 産学連携事業概要（案）

## 1. 事業内容：情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナー等の開催

### 1) 5周年記念講演会／情報交換会

実施予定日	平成25年2月
実施場所	日本科学未来館
講演者	東京大学 大学院経済学研究科 ものづくり経営研究センター 特別研究員 吉川 良三先生
講演テーマ	「日本のものづくり技術神話再考 ～サムソンのグローバル戦略から学ぶ～」

### 2) セミナー／企業説明会

実施予定日	平成25年2月
実施場所	鈴鹿工業高等専門学校
実施テーマ	「情報処理関連企業で働くということ（仮）」
受益対象者の範囲及び予定人数：	産業界 1名
	教育界 4名
	学生 50名

2. 事業概要：1) 高専教育界において最新のIT技術動向に触れる機会が少ないので、講演会を実施頂き、意見交換ならびに交流促進を図る。

2) 高等教育機関に学ぶ学生を取巻く就職に関する昨今の状況は非常に厳しいものがある中、高専学生は特別に恵まれた環境にある。高専の教育界は、このような状況に甘えることなく、社会が求める人材の育成に努める必要があり、企業もその発展性と求める人材像を明確に示し求人に当たる姿勢が求められる。過去に学生向けのセミナーが好評であったため、引き続き交流促進事業としてセミナーを開催することとした。

学生が参集し易い時期に東海地区の鈴鹿高専を会場とし、会員の所属する企業の採用管掌部長から高専の学生を対象に情報産業の動向と各社のつこう、情報産業界で働くことの意義を理解し、企業が高専、高専学生や卒業生をみているのかについて発表をいただき、その模様を録画してホームページからも聴講できるようにも挑戦する。

# 広報活動事業概要（案）

## 1. 事業の目的

公式ホームページ等により、本 NPO の活動を広く周知する。

## 2. 事業の概要

### 2-1 各事業に関する情報の掲載

本 NPO の事業の実施と連携して記事を掲載し、継続的な内容の更新を行う。

#### (1) プロコン事業

- プロコン本選に伴う結果の迅速な公開
- マスコミ掲載などの資料整理

#### (2) 国際プロコン事業

- 国際プロコン運営支援事業の運営に際して、情報の正確性とスピード化を通して国際チーム受け入れを円滑化するため、本格的にホームページの英語版の掲載を進める。

### 2-2 会員の入会促進

- 会員募集要項の掲載に留まらず、会員に対して今後計画予定の事業（情報産業界と高専教育界の連携を図るためのシンポジウム等）に対して広く理解を求め、活動協力を啓蒙する。
- 高専教員を対象として、個人会員の入会を促進する

### 2-3 その他

- 新たに各方面で活躍中のプロコンOBの活動内容の紹介コーナーを作成、ホームページの充実に努める。
- プロコンML、公式サイト、スタッフサーバ、NAPROCK サイトの統合化を進める。
- 連合会ホームページとの連携を進める

## 【広報活動事業】

- 6月～ NAPROCK 国際大会 HP への大会概要の公開
- 10月 第24回プロコンの結果公開

